

教育センター

センター長 福島 統

センター長・部門長・教授	福島 統	医学教育学（医学教育部門）
兼任・室長・教授	木村 直史 (薬理学)	医学教育学（医学教育研究室）
専任・教授	伊坪真理子	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	川村 哲也 (内科学(腎臓・高血圧))	医学教育学（医学教育研究室）
専任・准教授	尾上 尚志	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	古谷 伸之 (内科学(総合診療部))	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・講師	石橋 由朗 (外科学)	医学教育学（医学教育研究室）
兼任・准教授	鷹橋 浩幸 (病理学)	医学教育学（医学教育研究室）
専任・准教授	中村真理子	医学教育学（教育開発室）
兼任・准教授	松島 雅人 (臨床疫学研究室)	医学教育学（教育開発室）
専任・准教授	柵山 年和	医学教育学（教育開発室）
専任・講師	岡崎 史子	医学教育学（教育開発室）

教育・研究概要

平成 11 年 4 月に教学委員長を室長に医学教育研究室が学事部学務課内に設置され、平成 14 年 4 月には初年次教育の拡充のために、国領校に医学教育研究室国領分室が設置された。平成 17 年 10 月に教育センターが設置され、その中に医学教育研究室、看護教育研究室、卒後教育支援室、教育開発室が置かれ、平成 18 年 4 月には教育センター事務室が設置され、教育センターとして本格的な活動が開始された。福島 統が平成 19 年 4 月に教育センター長に就任し、平成 22 年 4 月に再任された。教育センターは、平成 22 年 4 月に C 棟 7 階に移動し、シミュレーション教育施設および e-Learning 施設の管理

運営も行っている。平成 23 年 9 月 7 日に東京慈恵会医科大学教育センター規定が制定され、教育センター内に医学教育部門と看護学教育部門が設置された。平成 24 年 4 月に看護学教育部門長として奈良京子が就任し、看護学教育部門を運営上、看護キャリアサポートセンターと称することとなった。

1. 平成 24 年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成(B) グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実」事業で「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」(事業責任者：宇都宮一典教授)が採択された。本取組の概要は、「参加型臨床実習では、指導医の下で学生が主体的に診療に従事することが学習課題となる。この学習を行うためには、臨床という「職場」で学生が自らの能力を見極め、学習課題を設定し、それを学びとる能力を持っていなければならない。本取組ではカリキュラム全体を見直し、①低学年(1 年次から 3 年次)からの学外実習施設の患者接触プログラム(6 週間)で「職場の中で学ぶ」力を養成し、②4 年次の全科見学型臨床実習(28 週間)とキャンパスでの集合教育との組み合わせで診療の現場で求められる知識・技能・態度を「文脈の中での学習」として行い、そして③5 年次からの 4 週間 1 診療科の参加型臨床実習(40 週間)のなかで実際の診療に従事する「チーム医療への参画」を通して臨床能力を養う系統的なカリキュラムを構築する。カリキュラム完成時には 74 週の臨床実習を実施することとなる。また、参加型臨床実習での学習の場を分院、地域教育病院にも広げる。本取組で、教育センターはキングス大学での臨床実習の調査および本年度の外部評価受け入れに協力した。

2. 平成 24 年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成(C) 医学・歯学教育認証制度等の実施」事業で「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」(申請大学：東京医科歯科大学)を連携校として採択を受けた。本取組として英国 General Medical Council (GMC) へ正式訪問し、英国での医学教育質保証制度について調査研究を行い、研究班の公開シンポジ

ウムで発表した。英国では卒前医学教育の評価方法が、Comprehensive-approach から Risk-based approach へ変わり、卒前医学教育と卒後臨床トレーニングとを一体として認証評価するシステムに変わっていた。さらに米国の ECFMG, FAIMER へも訪問調査を行い、米国での医学教育の質保証の制度を調査研究した。本学においては、教学 IR (Institutional Research) の考え方に沿って、自己点検評価のための教育成果データベースの作成を行った。

3. 平成 24 年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業「高齢社会を踏まえた医療提供体制見直しに対応する医療系教育の在り方に関する調査研究」で、「在宅ケア実習での学生の学び—学生レポートから—」と題し、本学が平成 10 年から全国に先駆けて実施している在宅ケア実習の成果について報告した。この教育成果は、岡崎講師により 2 編の論文にまとめられ、雑誌「医学教育」に掲載された。

4. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（癌臨床研究事業）「がん患者の QOL につながる在宅医療推進に向けた、総合的がん専門医療職のがん治療認定医、がん専門薬剤師と協働するナース・プラクティショナーに関する研究（研究代表者：森美智子）」は、本年度が補助最終年度となり、ナース・プラクティショナーへの教育に対する癌専門医とプライマリケア医の相違点について全国調査の結果を論文発表した。

5. 看護キャリアサポートセンターは、奈良京子部門長を担当として、①エデュケーションナース研修、②看護監督者研修、③看護管理者研修などの看護学教育プログラムを実施した。

6. 平成 24 年度私立大学教育研究整備事業に「学生の能力特性に応じた自己主導型学習・評価システムの構築」（事業推進責任者：木村直史教授）、平成 24 年度研究設備整備等補助金事業に「e-Learning システム (Moodle)」（管理責任者：福島 統教授）を申請し、採択され、学習環境の整備を行った。

7. チーム医療構築ワークショップ：青戸病院医療事故の改善策の一つとして始まった医療の安全教育ワークショップは平成 16 年 1 月から 5 年間、55 回開催、5 千人参加で終了し、平成 21 年 4 月からはチーム医療構築ワークショップとして形を変え継続している。今年度も附属病院 3 回、葛飾医療センター 1 回、第三病院 2 回、柏病院 2 回の計 8 回実施した。

8. 地域医療者のための心音セミナー：本学学生が学外実習を行っている実習施設の看護師を対象に、

心音セミナー 3 回、呼吸音セミナー 2 回を開催し、地域医療者への生涯学習コースを提供した。

9. 教育成果の検証と教育カリキュラムの点検、改善を目的として、新カリキュラム導入以降の卒業生（平成 13 年度～22 年度）を対象としたアンケートとインタビューを行った。

10. 学外での医学教育関係講演：①茨城県看護教員連絡会、②昭和大学、③兵庫医科大学病院、④京都保健衛生専門学校教員研修会、⑤都立府中看護専門学校、⑥徳島大学医学部付属病院、⑦兵庫医科大学、⑧横浜市立大学医学部、⑨小樽掖済会病院、⑩板橋中央総合病院、⑪岩手医科大学、⑫山口大学医学部、⑬大東文化大学法科大学院

「点検・評価」

教育センターでは、①医学教育・臨床研修支援、②看護キャリアサポートセンター業務、③シミュレーション教育施設運営管理、④ e-Learning の設備管理と運営、そして⑤競争的教育補助金の獲得を中心に活動を行っている。研究もこの活動に沿った内容で行っている。シミュレーション教育施設はその使用頻度が年々増加し、さらに使用機材は高機能になってきている。教育センターの役割を明確化するために、平成 23 年 9 月に教育センター規定を制定したが、役割の多様化に再度規定の変更が必要になってきている。

研究業績

I. 原著論文

- 岡崎史子, 中村真理子, 福島 統. 医学生は訪問看護同行実習で何を学んでいるのか. 医教育 2012; 43(5): 361-8.
- 岡崎史子, 中村真理子, 福島 統. 早期臨床体験実習における医学生の不適切行動に対するフィードバックの効果. 医教育 2012; 43(5): 397-402.
- 岡崎史子, 古谷伸之, 関 正康, 石橋由朗, 尾上尚志, 小野和哉, 秋山政晴, 川村哲也. 慈恵医大における診療参加型臨床実習指導医養成ワークショップの効用. 医教育 2012; 43(6): 441-6.
- Ishida Y (St.Luke's International Hospital), Hatao M¹⁾, Fukushima O, Mori M¹⁾, Isozaki F¹⁾, Okuyama A¹⁾ (¹The Japanese Red Cross Akita College of Nursing). Comparison between cancer specialists and general physicians regarding the education of nurse practitioners in Japan: a postal survey of the Japanese Society of Clinical Oncology. Int J Clin Oncol 2012 Aug 11. [Epub ahead of print]

Ⅱ．総 説

- 1) 福島 統. 多くの職種が参加する医療者教育 Inter-professional Education. 日医大医会誌 2012 : 8(4) : 255-9.

Ⅲ．学会発表

- 1) 福島 統. 学習理論－行動主義, 構成主義そして状況論. 第90回日本生理学会大会. 東京, 3月.
- 2) 福島 統. 各国における認証評価制度－イギリス. 平成24年度文部科学省改革推進事業(基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成)公開シンポジウム「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」－医学教育認証評価制度発足に向けて－. 東京, 2月.
- 3) 福島 統. 認定実技審査, 国家試験, 卒後臨床研修の立場から. 第21回日本柔道整復接骨医学会学術大会. 福岡, 11月.
- 4) 石田也寸志, 畑尾正彦, 福島 統, 森美智子, 磯崎富美子, 奥山朝子. 癌専門医から見たナースプラクティショナーの教育－総合医との比較. 第50回日本癌治療学会学術集会. 横浜, 10月.
- 5) 福島 統. 参加型臨床実習のための系統的教育. 第129回成医会総会. 東京, 10月.
- 6) 磯崎富美子, 畑尾正彦, 森美智子, 石田也寸志, 福島 統, 奥山朝子. 日本の Nurse Practitioner 教育に関する研究－医師の視点の調査－. 第44回日本医学教育学会大会. 横浜, 7月.
- 7) 中村真理子, 福島 統. 卒業生アンケートによる慈恵医大カリキュラムの検討と改善に向けての考察. 第44回日本医学教育学会大会. 横浜, 7月.
- 8) 福島 統. 医学教育分野別評価基準案について. 第44回日本医学教育学会大会. 横浜, 7月.
- 9) 福島 統. これからの医療者教育. 第23回日本在宅医療学会学術集会. 横浜, 6月.